

令和元年度 データヘルス計画 個別保健事業評価について

保険者名(柳津町)

個別保健事業名	平成30年度事業概要	アウトカム								アウトプット		ストラクチャー		プロセス		各保健事業からみた 中長期目標の達成状況				
		指標	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値(A)	平成29年度 目標値	平成30年度 実績値(B)	平成30年度 目標値(C)	増減 (B)-(A)	増減 (B)-(C)	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	平成30年度 実施状況	令和元年度 改善状況	平成30年度 実施状況	令和元年度 改善状況					
1 糖尿病性腎症重症化予防	健診結果から対象者の抽出 ・医療機関未受診者 ・健診結果に受診勧奨用の文書及び医療機関からの受診結果の返信用はがきを同封し郵送。 ・糖尿病治療中のコントロール不良者 ・対象者に訪問し、受診・服薬の状況の確認。検査結果の身体への影響・食事について保健指導の実施。糖尿病連携手帳で医療機関と連携。 ・医療機関未受診者・コントロール不良者共に3～4カ月後を目途に訪問し、検査結果の確認し、保健指導の実施	医療機関未受診者の受診勧奨者の医療機関受診率	85.7%	92.6%	95.0%	81.0%	95.0%	-11.6%	-14.0%	対象者27人 受診者25人 全員指導実施	対象者21人 受診者17人 全員指導実施	・KDBシステムは保健師・管理栄養士が対象者の状況を確認出来る状況になっている。 ・保健指導については、保健師・管理栄養士が実施。 ・地区担当で保健指導を実施。	・令和元年度、保健師1名減の状況で事業実施。 ・対象者の優先順位を考え実施。	・対象者に合わせた保健指導教材を使用。 ・KDBシステムから受診・服薬の状況を確認。 ・未治療者の中には定期的に糖尿病の検査を実施している者もいる。	・糖尿病治療なし6.5以上20人(3.9%) (H29 5.4%) 治療中7.0以上 31人(6%) (H29 4.4%)となっている。	中長期目標 脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症を減らす。 ↓ ①3疾患の被保険者に対する患者割合を増加させない。 ②3疾患の入院件数の割合を減少させる。 ①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。				
		糖尿病治療中のコントロール不良者の訪問指導率	98.3%	96.8%	100.0%	90.0%	100.0%	-6.8%	-10.0%	対象者 42人 指導者 41人	対象者 50人 指導者 45人						・LDLコレステロール180以上 治療なし9人 治療中 0人 (H29 治療なし 9人 治療中 0人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。
		訪問指導後の検査値の改善率(HbA1c等)		59.1%	60.0%	48.3%	60.0%	-10.8%	-11.7%	訪問指導者 41人中 その後の検査結果把握者 22人 HbA1c改善者 13人	訪問指導者 45人中 その後の結果把握者 29人 HbA1c改善者 14人									
高血圧Ⅱ度以上対象者の減少(対象者の割合)	8.0%	8.7%		6.1%		-2.6%		44人 治療なし 21人 治療中 23人	31人 治療なし 14人 治療中 17人	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。							
高血糖治療なしHbA1c6.5以上治療ありHbA1c7.0以上	8.3%	9.7%		10.0%		0.3%		49人 治療なし 27人 治療中 22人	51人 治療なし 20人 治療中 31人					・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。			
LDLコレステロール治療なし140以上治療あり160以上	22.6%	16.9%		19.7%		2.8%		86人 治療なし 83人 治療中 3人	100人 治療なし 95人 治療中 5人									・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)
中性脂肪300以上	1.1%	1.6%	前年度より減少	1.8%	前年度より減少	0.2%		8人 治療なし 5人 治療中 3人	9人 治療なし 6人 治療中 3人	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。							
メタボリックシンドローム該当者(2項目以上)	23.1%	22.1%	前年度より減少	23.2%	前年度より減少	1.1%		該当者 112人中 3項目該当 39人	該当者 118人中 3項目該当 39人					・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。			
eGFR50未満(70歳以上は40未満)	3.2%	3.2%	前年度より減少	2.4%	前年度より減少	-0.8%		16人 治療なし 2人 治療中 14人	12人 治療なし 2人 治療中 10人									・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)
心電図所見においてST所見・心房細動	37人	28人	前年度より減少	25人	前年度より減少	▲3		心房細動 7人	心房細動 3人	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。							
受診勧奨値の対象者の受診率(血圧・脂質・血糖)	26.6%	36.3%	前年度より減少	34.6%	前年度より減少	-1.7%		対象者151人 (受診者 89人)	対象者 176人 (受診者102人)					・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	と少しずつではあるが改善傾向が見られる。	・高血圧Ⅲ度以上 4人 (H29 7人)	①については参考資料1・参考資料3単年度で見ていると増減は大きい。 ②については参考資料2 平成30年度においては、脳血管疾患の患者が多かった。特に入院のレセプト件数が多い。しかし、虚血性心疾患の心筋梗塞の入院は0であり、慢性腎不全については減少している。			
3 健診の普及啓発	・春・秋の集団健診・施設健診・人間ドック・受診時の検査結果活用等の健診機会提示し受診勧奨を実施。 ・未受診者に対しては、個別に通知・訪問・電話等で受診勧奨を実施。	特定健診受診率(40～64歳)	73.4%(64.2%)	73.4%(6.7%)	70.0%	75.5%(66.4%)	70.0%	2.1%	-5.5%									対象者 691人 受診者 507人	対象者 673人 受診者 508人	健診受診機会を多く受けやすい体制整備としている。 まだまだ、通院中であるため健診未受診者は多い。
		若年者健診受診率	58.2%	60.0%	増加	58.0%	増加	-2.0%		申し込み者80人 受診者48人	申し込み者69人 受診者40人	健診受診機会を多く受けやすい体制整備としている。 まだまだ、通院中であるため健診未受診者は多い。	未受診者の受診勧奨時に受診時の検査結果活用のお知らせを早い時期から個別に通知。					春の健診後、すぐに施設健診の案内・秋の健診時にその時期に施設健診者未受診者・春の健診未受診者へ個別に通知。その後未受診者へは訪問で受診勧奨を実施。その際は、施設健診・検査結果活用で受診勧奨を行う。時期を逃さずに受診勧奨を実施。	国保への異動の手續きに特定健診について説明し、受診勧奨を実施している。	
4 特定健診未受診者対策	・春・秋の集団健診・施設健診・人間ドック・受診時の検査結果活用等の健診機会提示し受診勧奨を実施。 ・未受診者に対しては、個別に通知・訪問・電話等で受診勧奨を実施。	未受診者への受診勧奨率	49.5%	53.0%	増加	60.4%	増加	7.4%		対象者 296人 訪問者 157人	対象者 235人 訪問者 142人			健診受診機会を多く受けやすい体制整備としている。 まだまだ、通院中であるため健診未受診者は多い。	未受診者の受診勧奨時に受診時の検査結果活用のお知らせを早い時期から個別に通知。	春の健診後、すぐに施設健診の案内・秋の健診時にその時期に施設健診者未受診者・春の健診未受診者へ個別に通知。その後未受診者へは訪問で受診勧奨を実施。その際は、施設健診・検査結果活用で受診勧奨を行う。時期を逃さずに受診勧奨を実施。	国保への異動の手續きに特定健診について説明し、受診勧奨を実施している。			特定健診受診率は、ここ数年70%以上を維持できている状況である。65歳未満の受診率も少しずつ上昇しているため維持していく必要がある。 重症化の予防を考えると受診者への適切な保健指導が重要になってくるため、対象者にあった保健指導を丁寧に実施していき、検査結果の改善につなげることが出来るようにしていきたい。そのためには、医療機関との連携がより一層重要となる。 また、保健指導を実施した後のフォローも重要となるが、十分なフォローが出来ていないことが課題となっている。
		リピーター率	90.1%	83.5%	90.0%	89.3%	90.0%	5.8%	0.7%		453人		健診受診機会を多く受けやすい体制整備としている。 まだまだ、通院中であるため健診未受診者は多い。					未受診者の受診勧奨時に受診時の検査結果活用のお知らせを早い時期から個別に通知。	春の健診後、すぐに施設健診の案内・秋の健診時にその時期に施設健診者未受診者・春の健診未受診者へ個別に通知。その後未受診者へは訪問で受診勧奨を実施。その際は、施設健診・検査結果活用で受診勧奨を行う。時期を逃さずに受診勧奨を実施。	
5 特定健診受診者へのフォローアップ	受診者には、健診結果に個人の過去の健診結果の経年表を同封。健診結果について訪問し保健指導を実施。	健診受診者への保健指導率	89.0%	82.1%	85.0%	79.3%	85.0%	-2.8%	5.7%	対象者 507人 指導者 416人	対象者 508人 指導者 403人	保健師・管理栄養士で実施。		保健師1名減の状況で実施。	優先順位を決めて対象者に合わせた教材で保健指導を実施。					
6 ジェネリック医薬品普及啓発	・差額について個別通知を実施。 ・広報及びパンフレットを配布しジェネリックについて知識の普及を図る。	ジェネリック医薬品利用率(年間利用率の平均)	57.7%	61.4%	70.0%	67.9%	70.0%	6.5%	2.1%			国保担当・保健師で情報共有。	国保の運営協議会で利用率について報告し、意見を求めた。	・保険証送付時に希望シールを同封。 ・広報・パンフレットの内容について検討。	・町の国保診療所で利用を促進するように、診療所医師と連携し動めている。					
7 適正受診・適正服薬の推進	・国保独自情報システムより対象者の抽出。 ・医療費通知の送付。 ・保健師の服薬の確認・保健指導の実施。	受診指導・服薬指導実施率	90.4%	100.0%	80.0%	69.0%	80.0%	-31.0%	11.0%	対象者 18人 指導者 18人	対象者 30人 指導者 21人	月に1度国保独自情報システムより対象者の抽出を実施。		対象者から現在の服薬の状況を確認し保健指導を実施。						

※様式は各保険者で記載しやすいように変更していただいて構いません。